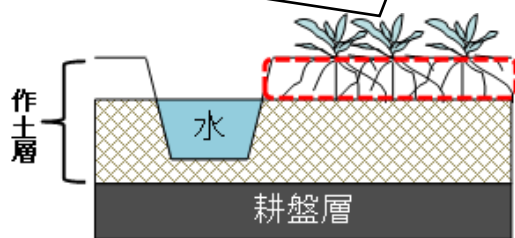


播種は9月末頃から行われ、苗立ち及び初期生育は概ね良好となっています。
今後も**排水対策**を徹底して分げつの発生を促し、年内越冬前の茎数を確保しましょう。

1 排水対策

ほ場に水が溜まったままになると湿害を受けて根の発達が悪くなり、穂数不足による収量の低下や雑草の繁茂につながります。

停滞水により根が伸長しない



排水不良田

停滞水がないと根が伸長し、分げつの発生が良好になる



排水良好田

降雨後にはほ場を点検し、停滞水がある場合は**溝の連結等の手直し**を確実にを行い、積雪前に排水性を高めましょう。

◎排水対策のポイント

- ①排水口まで溝がきちんと連結されているかを再度確認し、崩れていたら手直しを行いましょう。
- ②降雨後に溝に停滞水がある場合は、**溝を深く掘り下げて排水口につなげたり、新たな溝を設置**するなど、停滞水が速やかに排水されるようにしましょう。



溝が排水口に連結されているかを確認

溝が崩れていないかを確認

2 追肥(分施の場合)

基肥に「基肥555」を使用している場合は、越冬前の生育量を確保するため、必ず追肥しましょう。

施用時期	肥料名	施用量
播種後1か月頃 (本葉3～4葉期)	硫安	20kg/10a

※基肥に**Jコート大麦48号**を使用している場合は、**追肥の必要はありません。**